

ヨハネの黙示録

Bible Forum in KOBE



聖書フォーラム
BIBLE FORUM

ご利用方法について

格納場所：神戸元町聖書フォーラム

<http://seishoforum.net/>



お願い！

このパワーポイント資料は
Clay クレイ聖書解説コレクション
と

聖書講解メッセージ・シリーズ
「ヨハネの黙示録」
を基に作成しております。

ハーベスト・タイム・ミニストリーズから発売の
電子版か紙版テキスト、無料配信動画、メッセージアウトライン
などと合わせて、**ご参照・ご活用下さい！**

1. イントロダクション

1. 神のご計画の全貌（全体構造）を再確認！



2. 終末論の全貌（全体構造）を再確認！



3. 「ヨハネの黙示録」の全体構造を再理解！

全体構造理解の大前提！ ディスペンセーションリズム

定義「ディスペンセーションとは
神の計画が進展していく過程において出現する
明確に区分可能な神の経綸（時代・時代区分）

(1) 聖書を字義通りに解釈。

(2) 「イスラエル」と「教会」を一貫して区別。

(3) 神がユダヤ民族とアブラハム契約を結ばれたこと。
それが永遠の契約であることを認める。

(4) 歴史を貫くテーマは「神の栄光」である。

※ 漸進的啓示の理解も重要！

時代区分	過去			④ ~約束の時代~	⑤ ~律法の時代~	現在	未来
	① ~無垢の時代~	② ~良心の時代~	③ ~人間による統治の時代~			⑥ ~恵みの時代~	⑦ ~御国の時代~
聖書箇所	創1:28 ~3:8	創3:9 ~8:14	創8:15 ~11:32	創12:1 ~出18:27	出19:1 ~使徒1:26	使徒2:1 ~黙19:21	黙20:1 ~10
中心人物	アダム	アダム	ノア	アブラハム	モーセ	パウロ	メシア
1. エデン契約	【1】エデン契約						
聖書箇所	・創1:26~31・創2:16~17						
2. アダム契約	アダムの契約【2】						
聖書箇所	・創3:14~19						
3. ノア契約	ノアの契約【3】						
聖書箇所	・創9:1~17						
4. アブラハム契約	アブラハムの契約【4】						
聖書箇所	・創12:1~3・創12:7・創13:14~17 ・創15:1~21・創17:1~21・創22:15~18						
5. モーセ契約	モーセの契約【5】						
聖書箇所	・出19:3~8・広くは出20:1~31:18						
6. 土地の契約	土地の契約【6:土地】						
聖書箇所	・申29:1~30:1 *特に申29:1に注目						
7. ダビデ契約	ダビデの契約【7:子孫】						
聖書箇所	・IIサム7:11b~17(ソロモン強調) ・I歴17:10b~15(メシア強調)						
8. 新しい契約	新しい契約【8:祝福】						
聖書箇所	・エシ31:31~34						

以前の天と地は過去だった
白い御座の慈き
第二の復活と第二の死

黙21:1
~22:5

新天新地

新しいエルサレム

神の栄光

時間を超越した
永遠の秩序

エゼ28:13によれば
サタンが反逆によって
エデンの園は
かつての栄光を失った。
聖なる都エルサレムは
その栄光を回復したもので
本来のエデンの園以上の
輝きを与えられている。

神のご計画の全貌

Q1) 聖書の始まりとは？

Q2) サタン墮落前と人類墮落前のエデンの園とは？

創1:1 創1:2 創1:3 ~27

サタンの墮落(エゼ:28:11~19、イザ14:12~14)

人類の墮落

初めに、神が天と地を創造した。

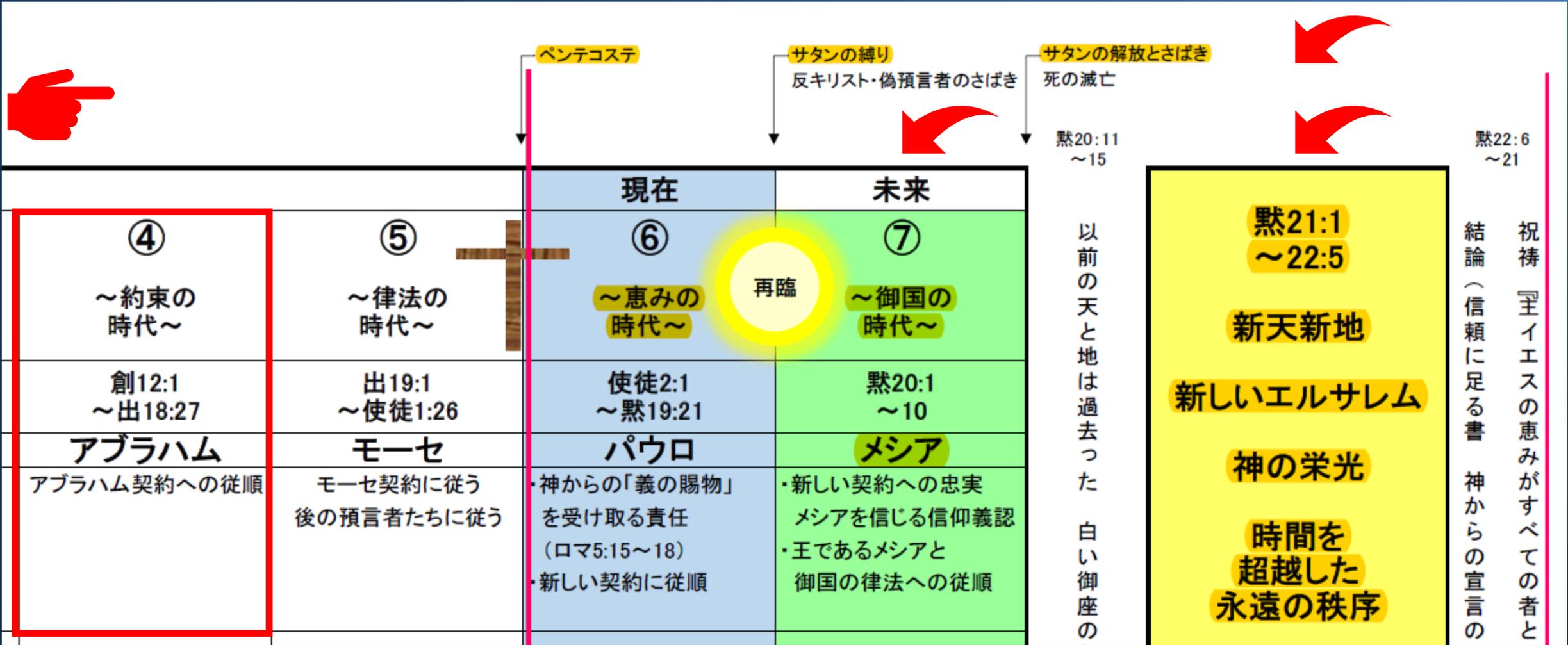
a 地は形なく、むなしく、やみが淵の

神は仰せられた。光があれ。する

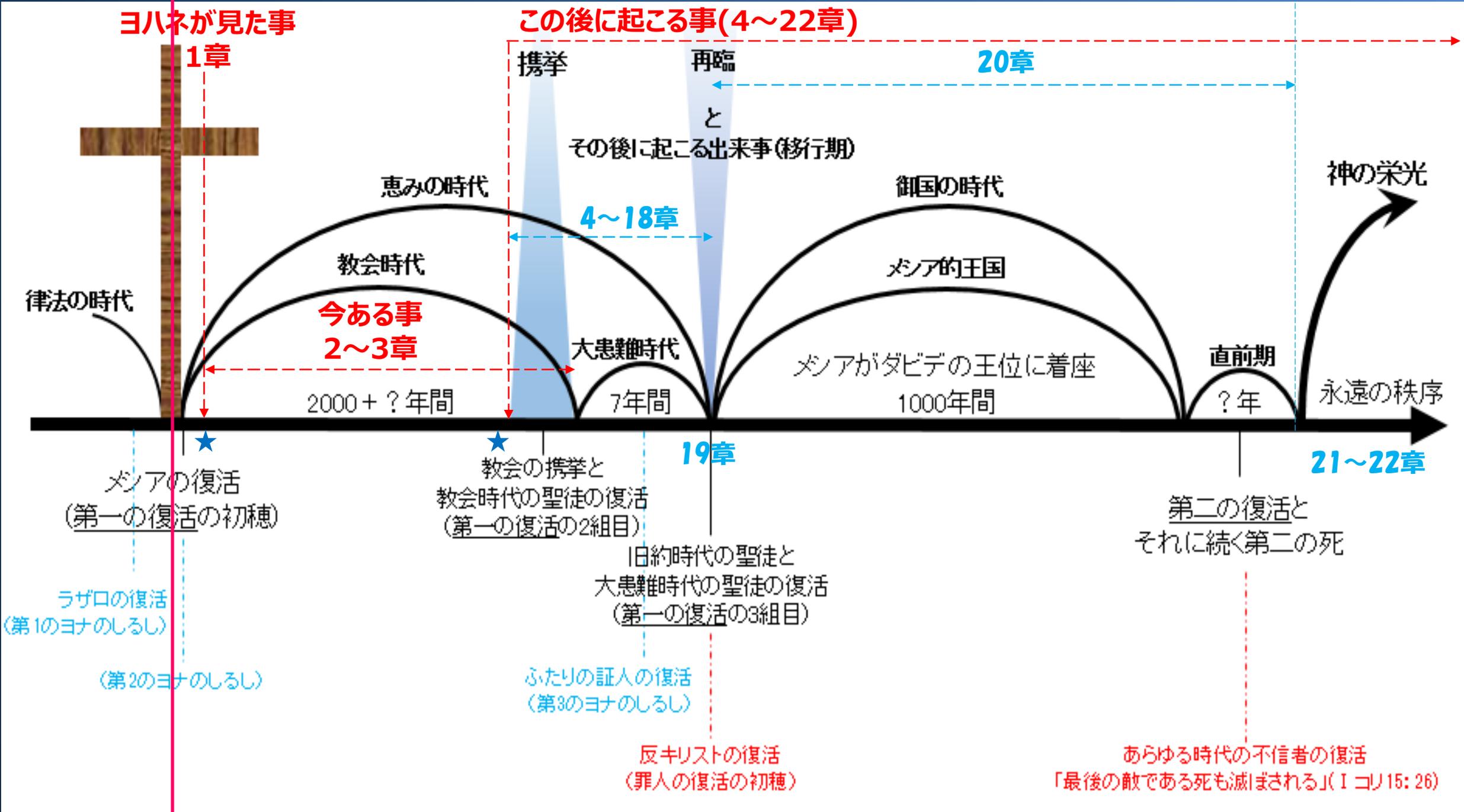
時代区分	過去			
	①	②	③	④
時代区分	① ~無垢の時代~	② ~良心の時代~	③ ~人間による統治の時代~	④ ~約束の時代~
聖書箇所	創1:28 ~3:8	創3:9 ~8:14	創8:15 ~11:32	創12:1 ~出18:27
中心人物	アダム	アダム	ノア	アブラハム
責任	エデン契約への従順	アダム契約への従順	ノア契約への従順	アブラハム契約への従順

Q1) 聖書の終わりとは？

Q2) 人類墮落前とサタン墮落前以上の回復とは？



終末論の全貌



目次の全体構造

序言「まえがき」(1:1~3) -----> **1:1「イエスキリストの黙示」**

あいさつ(1:4~8) -----> **1:7「黙示録のテーマ」**

★ I. ヨハネが見た事: 栄光に輝く人の子(1:9~20) -----> **1:19「黙示録のアウトライン」**

★ II. 今ある事: 教会時代(2:1~3:22)

★ III. この後に起こる事(4:1~22:5)

1. 大患難時代の前に起こる出来事(4:1~5:14)

2. 大患難時代(6:1~18:24)

7章は挿入句 -----> (1)大患難時代の前半に起こる出来事(6:1~9:21)

11:15~19のみ本文 -----> (2)大患難時代の中間に起こる出来事(10:1~14:20)

他は巨大な挿入句

(3)大患難時代の後半に起こる出来事(15:1~16:21)

巨大な挿入句 -----> (4)反復:2つの大バビロン(17:1~18:24)

3. 再臨とその後が起こる出来事(19:1~20:3) -----> **クライマックスは再臨**

4. メシア的王国(20:4~6)

5. その後の出来事(20:7~15)

6. 永遠の御国(21:1~22:5) -----> **ゴール (神の栄光)**

結論(22:6~21)

1章 ヨハネが見た事

～ 黙示録の要点 ～

イントロダクション

ヨハネによる前書き

ヨハネが見た事：栄光の主

黙示録の要点(1)

～ 3つの重要聖句 ～

1) 1 : 1 「イエスキリストの黙示」

「1:1 イエス・キリストの黙示。これは、すぐに起こるはずの事をそのしもべたちに示すため、神がキリストにお与えになったものである。そしてキリストは、その御使いを遣わして、これをしもべヨハネにお告げになった。」

2) 1 : 7 「黙示録のテーマ」

「 1:7 見よ、彼が、雲に乗って来られる。すべての目、ことに彼を突き刺した者たちが、彼を見る。地上の諸族はみな、彼のゆえに嘆く。しかり。アーメン。」

3) 1 : 19 「黙示録のアウトライン」

「1:19 そこで、あなたの見た事、今ある事、この後に起こる事を書きしるせ。」

黙示録の要点(2)

～ 黙示録のテーマを理解する ～

～ 主の大いなる再臨の日を待つ ～

(1) 黙示録のテーマは、**主の再臨とそのプロセス**（黙1：7）

(2) 再臨の条件は、**ユダヤ人の民族的回心**（ゼカリヤ12：10）

(3) 終末論の出来事の流れ

① **携拳**→大患難時代→ユダヤ人の民族的回心

② **再臨**→千年王国

(4) 大患難時代の反ユダヤ主義の最大目的
靈的なもの**(再臨の阻止)**

(5) 執筆経緯

「迫害の中にいる人々」と「教会全体」への励ましと矯正

(6)祝福の約束

「1：3 この予言のことばを朗読する者と、それを聞いて、そこに書かれていることを**心に留める**人々は幸いである。時が近づいているからである。」

「22：7 見よ。わたしはすぐに来る。
この書の預言のことばを**堅く守る**者は、幸いである。」

「**堅く守る**」とは、「**心に留め**見張っている状態」を言います。

テーマが再臨であることを理解し

主の大いなる再臨の日を待ちましょう！

黙示録の要点(3)

～ 再臨の条件は、ユダヤ人の民族的回心 ～

～ 教会としての責務とは ～

ユダヤ人に対する教会の責務まとめ

1. 福音を伝える โรม1 : 16

- ①動詞は現在形。今も真理である。
- ②福音は、ユダヤ人に、次に異邦人に伝える。
※パウロの伝道の原則でもある
- ③この原則は、あらゆる団体、個人、地域に適用される。

2. 物質的な物を分かち合う โรม15 : 25~27

- ①異邦人は霊的な祝福をユダヤ人から受けた。
- ②それゆえ、物質的な祝福を届けるべきである。
※経済的な必要性 ※ユダヤ人伝道への支援

3. ユダヤ人のために祈る

- ①詩122:6 ②イザ62 : 1~2 ③イザ62 : 6~7 ④ロマ10 : 1

2～3章 地上の教会

～ 7つの教会の意味～

～ 3つの神学的意味～

アジアにある7つの教会



7つの教会への手紙 (ヨハネの黙示録 2：1～3：22)

教会名	内容	キリスト描写	賞賛	叱責	奨励	約束
エペソ 意味：好ましい (黙 2：1～7) 使徒時代の教会の型 紀元 30 年～ 100 年頃		<ul style="list-style-type: none"> ・右手に七つの星を持つ方 ・七つの金の燭台の間を歩く方 	<ul style="list-style-type: none"> ・行いと労苦と忍耐 ・悪い者たちを追放した ・偽教師たちの教えを拒否した ・ニコライ派の行いを憎んでいる 	<ul style="list-style-type: none"> ・初めの愛から離れてしまった 	<ul style="list-style-type: none"> ・どこから落ちたかを思い出せ ・悔い改めよ ・初めの行いをせよ 	<ul style="list-style-type: none"> ・いのちの木の實を食べる
スミルナ 意味：没薬 (黙 2：8～11) 迫害時代の教会の型 1 世紀～ 4 世紀		<ul style="list-style-type: none"> ・初めであり、終わりである方 ・死んで、また生きた方 	<ul style="list-style-type: none"> ・貧しさや迫害に耐えている 		<ul style="list-style-type: none"> ・苦しみを恐れるな ・死に至るまで忠実であれ 	<ul style="list-style-type: none"> ・いのちの冠が与えられる ・第二の死によってそこなわれることはない
ペルガモ 意味：結婚した (黙 2：12～17) 国家教会時代の教会の型 4 世紀～ 5 世紀		<ul style="list-style-type: none"> ・鋭い、両刃の剣を持つ方 	<ul style="list-style-type: none"> ・キリストの名を堅く保っている ・キリストに対する信仰を捨てなかった 	<ul style="list-style-type: none"> ・バラムの教えを奉じている人々がいる ・ニコライ派の教えを奉じている人々がいる 	<ul style="list-style-type: none"> ・悔い改めよ 	<ul style="list-style-type: none"> ・隠れたマナ (栄光のキリスト) が与えられる ・新しい名が記された白い石が与えられる
テアテラ 意味：継続した権性 (黙 2：18～29) 暗黒時代の教会の型 6 世紀～ 15 世紀		<ul style="list-style-type: none"> ・燃える炎のような目を持つ方 ・その足は光り輝くしんちゅうのような方 ・神の子 	<ul style="list-style-type: none"> ・行い、愛、信仰、奉仕、忍耐 ・初めの行いにまさる行いをしている 	<ul style="list-style-type: none"> ・不品行と偶像礼拝を教える女イゼベルを容認した 	<ul style="list-style-type: none"> ・悔い改めよ ・正しい行いと教理を維持せよ 	<ul style="list-style-type: none"> ・諸国の民を支配する権威が与えられる ・明けの明星 (キリスト) が与えられる
サルデス 意味：逃れる者 (黙 3：1～6) 宗教改革時代の教会の型 16 世紀～ 17 世紀		<ul style="list-style-type: none"> ・神の 7 つの御霊、および 7 つの星を持つ方 	<ul style="list-style-type: none"> ・正しい行い ・生きているとの評判がある 	<ul style="list-style-type: none"> ・実は死んでいる 	<ul style="list-style-type: none"> ・目をさませ ・死にかけているほかの人たちを力づけよ ・聞いたことを思い出し、それを堅く守り、悔い改めよ 	<ul style="list-style-type: none"> ・白い衣を着せられる ・父と天使たちの前で、キリストがその名を言い表す
フィラデルフィア 意味：兄弟愛 (黙 3：7～13) 大主教時代の教会の型 18 世紀～ 19 世紀		<ul style="list-style-type: none"> ・聖なる方、真実なる方 ・ダビデのかぎを持っている方 	<ul style="list-style-type: none"> ・よい行い ・キリストのことばを守り、その名を否まなかった 			<ul style="list-style-type: none"> ・試練の時 (大患難時代) から守られる ・神の聖所の柱とされ、神の御名、新しいエルサレムの御名、キリストの新しい名が記される
ラオデキア 意味：人々が支配する (黙 3：14～22) 爾後時代の教会		<ul style="list-style-type: none"> ・アーメンである方 ・忠実で、真実な証人 ・神に造られたものの根源である方 		<ul style="list-style-type: none"> ・熱くも冷たくもない ・生ぬるいので口から吐き出す ・みじめで、衰れで、盲目で、裸の者である 	<ul style="list-style-type: none"> ・火で精錬された金をキリストから買え ・裸の恥を隠さないために着る白い衣を買え ・目に塗る目薬を買え 	<ul style="list-style-type: none"> ・勝利を得る者は、キリストと食事をする ・キリストとともに統治する

教会時代

教会の携挙と復活の時期
(第一の復活の二組目)

メシアの復活
(第一の復活の初穂)

大患難

2000 + ? 年

この後起こる事
(4~22章)

主の日

現代

今ある事: 教会時代
(2~3章)

宗教的大バビロン大淫婦 (17章)

1900~現代

✕7: ラオデキヤ 「人々が支配する」「背信の教会」

◎6: フィラデルフィア 「大宣教時代の教会」「兄弟愛」

○5: サルデス 「逃れ出る」「宗教改革時代の教会」

○4: テアテラ 「継続した犠牲」「暗黒時代」

○3: ベルガモ 「結婚した」「国家教会」

◎2: スルナ 「迫害時代の教会」「没業」

○1: エベソ 「好ましい」「使徒時代の教会」

I あなたの見た事 (1章)

主の日: 主の栄光が輝きわたる特別な日

100~313年

30~100年頃

81~96年

313~600年

600~1517年

1517~1648年

1648~1900年

30~100年頃

81~96年

313~600年

600~1517年

1517~1648年

1648~1900年

1900~現代

✕7: ラオデキヤ 「人々が支配する」「背信の教会」

◎6: フィラデルフィア 「大宣教時代の教会」「兄弟愛」

○5: サルデス 「逃れ出る」「宗教改革時代の教会」

○4: テアテラ 「継続した犠牲」「暗黒時代」

○3: ベルガモ 「結婚した」「国家教会」

◎2: スルナ 「迫害時代の教会」「没業」

○1: エベソ 「好ましい」「使徒時代の教会」

I あなたの見た事 (1章)

主の日: 主の栄光が輝きわたる特別な日

4章 天の様子

～七つの封印を開く前の天の様子～

4章は、巻き物を紹介するための
イントロダクション

4章

- 1. 御座についている方
- 2. 24人の長老
- 3. 7つの御霊
- 4. 四つの生き物

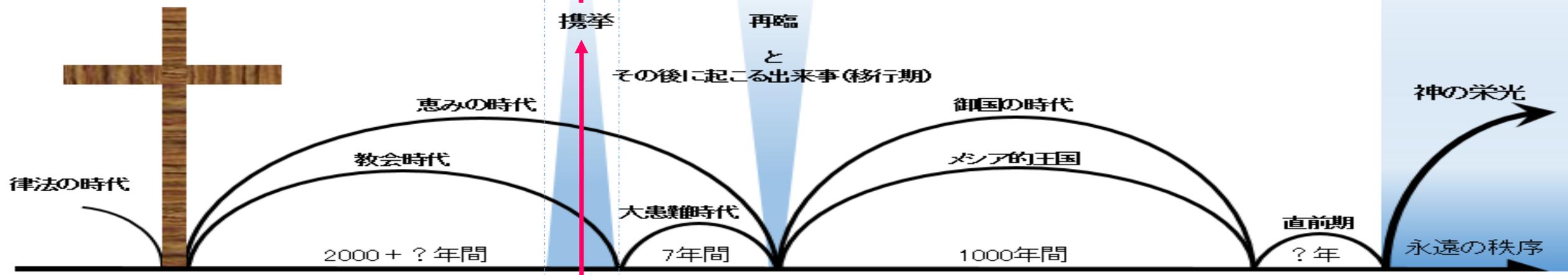


天での礼拝

*ヨハネが見た様子、天の視点

大患難時代の前に天で起こる出来事 (4~5章)

地上の視点



今ある事：教会時代 (2~3章)

この後に起こる事 (4~22章)

5章 天の様子

～七つの封印を開く前の天の様子～

～小羊と巻物～

5章で、巻き物とキリストが登場する

7つの封印で綴じられた巻物

4章

- 1. 御座についている方
- 2. 24人の長老
- 3. 7つの御霊
- 4. 四つの生き物

5章

- 5. ほふられたとみえる小羊
ユダ族の獅子・ダビデの根
- 6. 多くの御使い
- 7. 被造世界の全無生物・生物

天のオーケストラ

天での礼拝

礼拝に参加

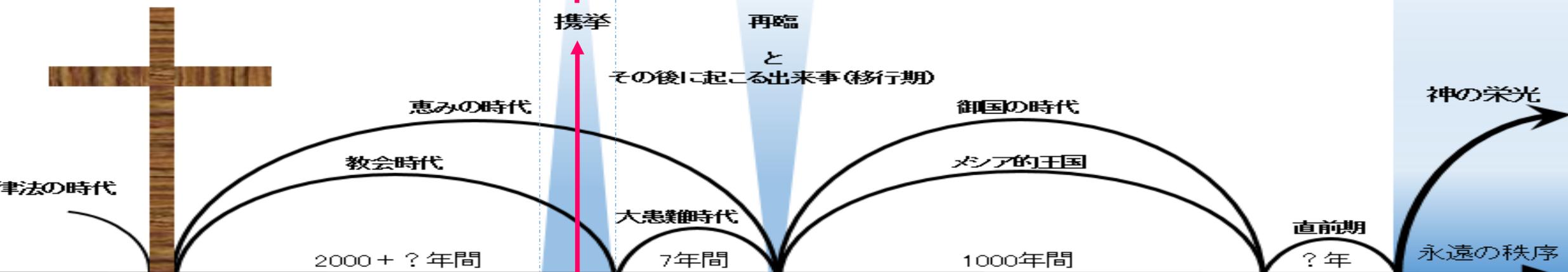
礼拝に参加

右の手から 受け取った

大患難時代の前に天で起こる出来事 (4~5章)

*ヨハネが見た様子、天の視点

地上の視点



今ある事：教会時代 (2~3章)

この後に起こる事 (4~22章)

6章 封印の裁き

～大患難時代の前半に起こる出来事～

イントロ

6章：封印の裁き

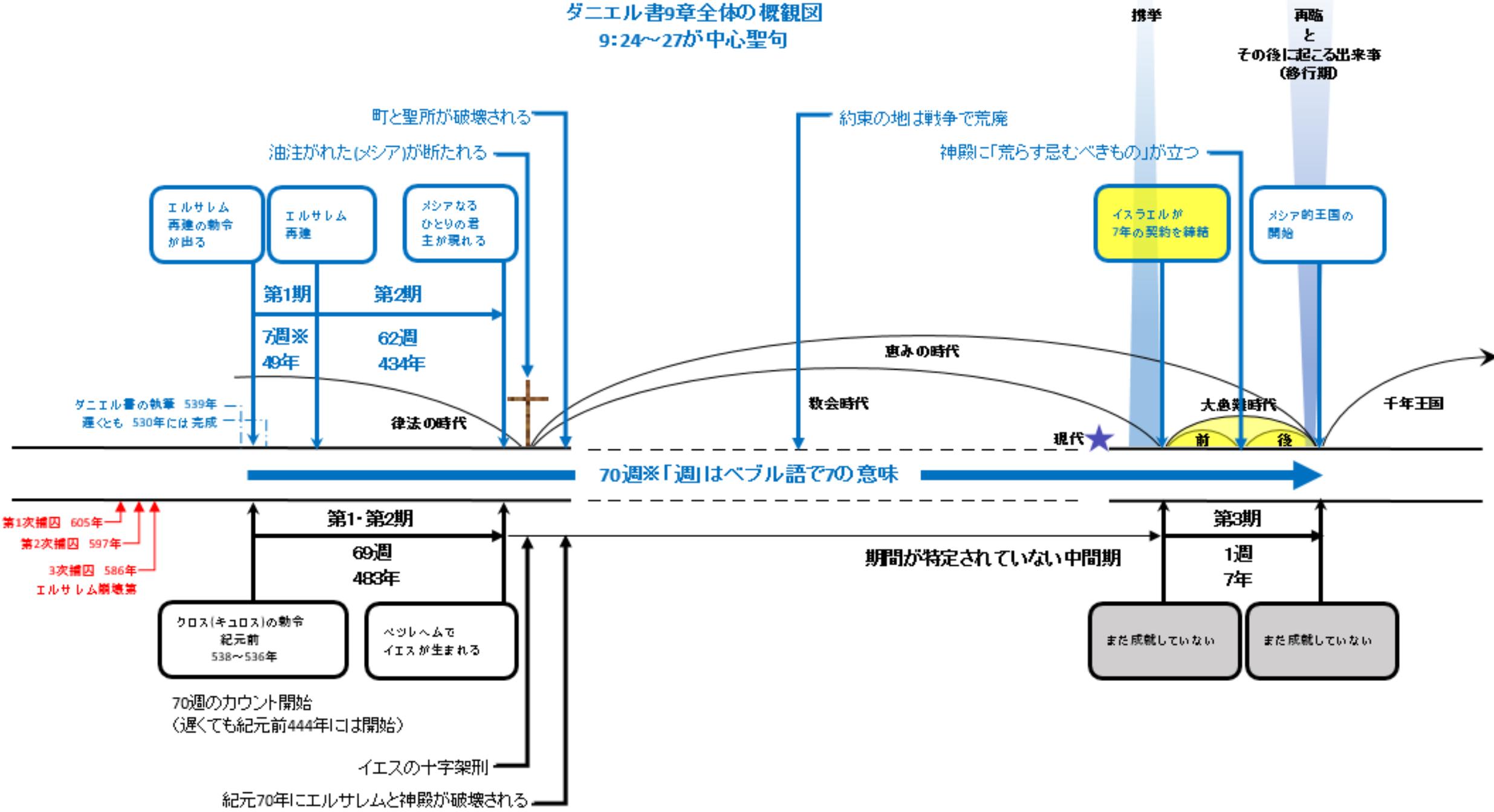
(前半3年半：前半1/4)

イントロ

ダニエル書9章 70週の預言
大患難時代の3つの目的

ダニエル書9章全体の概観図

9:24~27が中心聖句



大患難時代の3つの目的

① 邪悪を一掃

(イザヤ書13：9)

② 世界大のリバイバル

(黙示録7章 マタ24：14)

③ イスラエルの国家的な新生(再臨の条件)

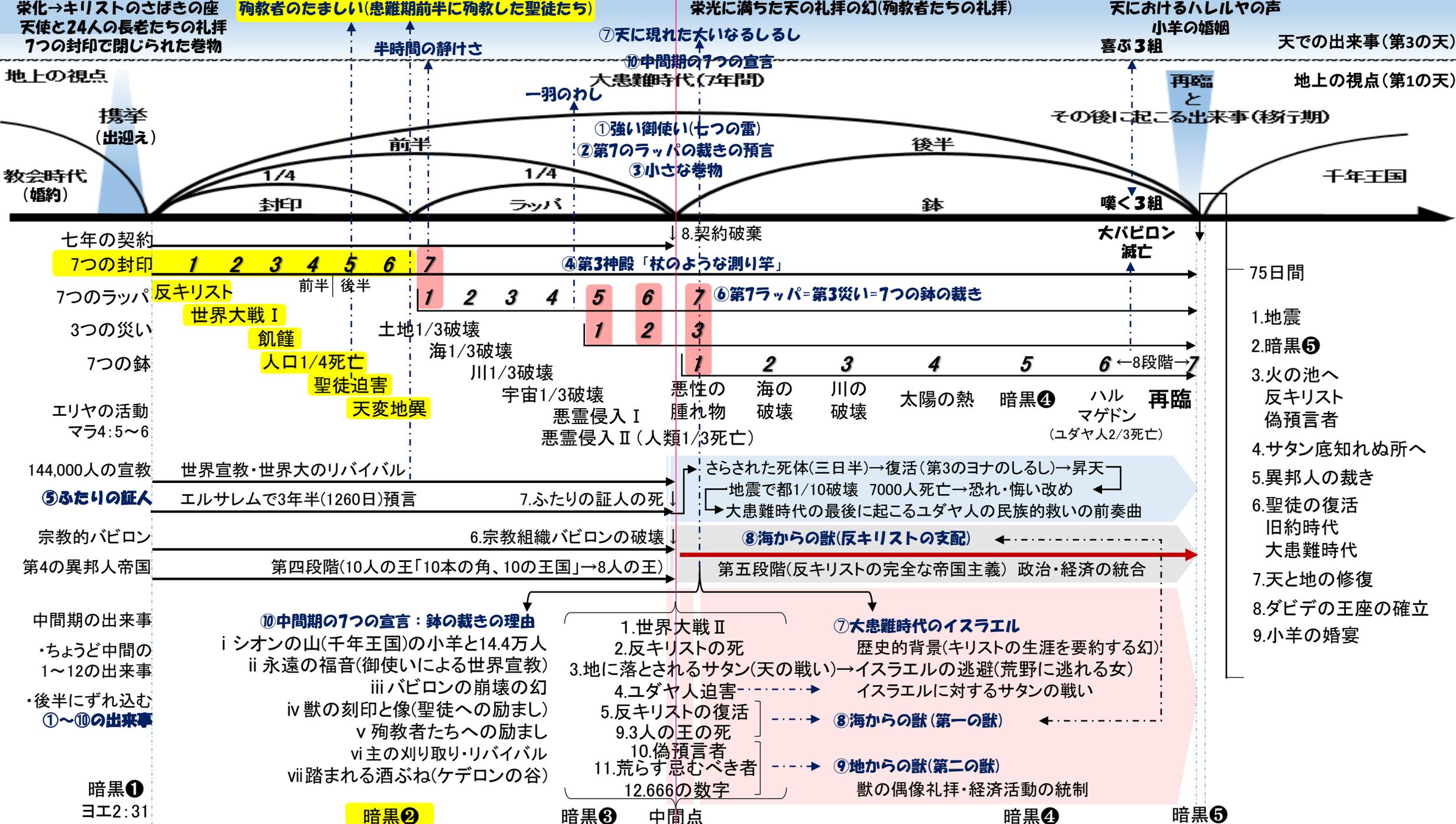
(ダニエル書12：7)

6章 封印の裁き

～大患難時代前半の「前1/4」の出来事～

6章：大患難時代が始まる

巻物の封印が解かれる。最初の6つ封印



暗黒①
ヨエ2:31

暗黒②

暗黒③ 中間点

暗黒④

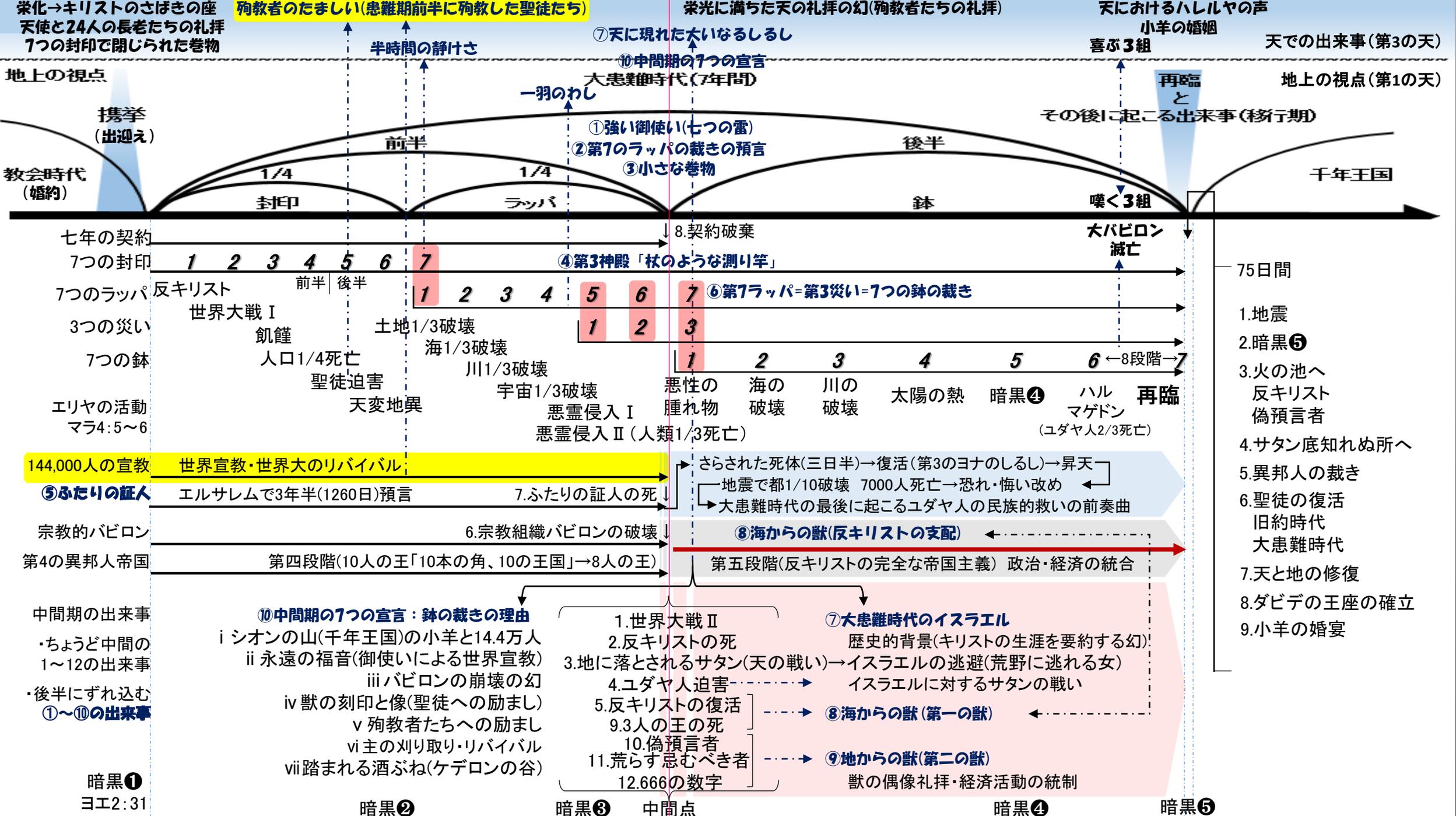
暗黒⑤

7章(挿入句) 前半のリバイバル

～大患難時代前半の3年半を通して起こる事～

144,000人のユダヤ人による世界宣教

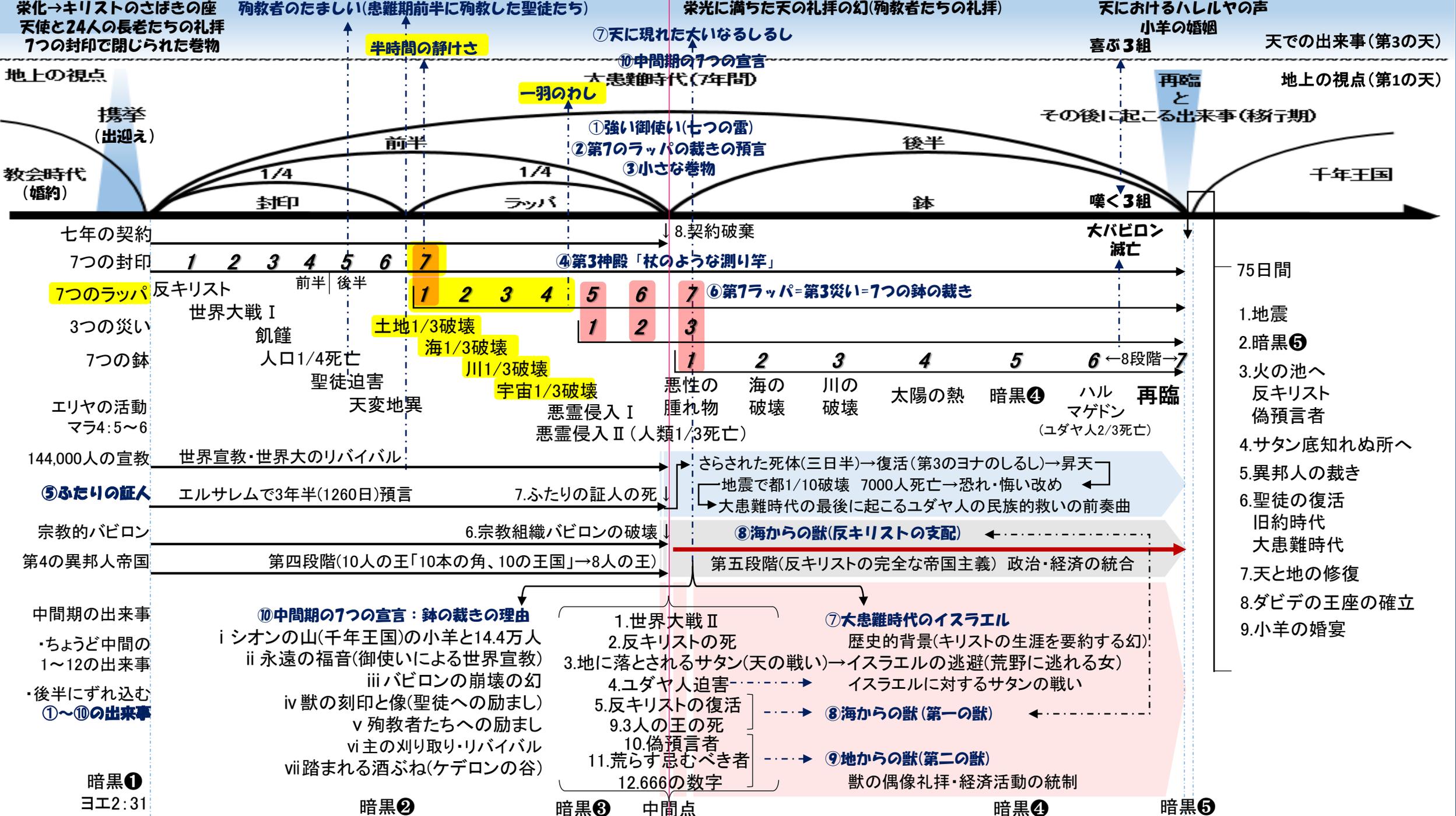
大患難時代の殉教者たち



8章 ラッパの裁き

～大患難時代前半の「後1/4」の出来事～

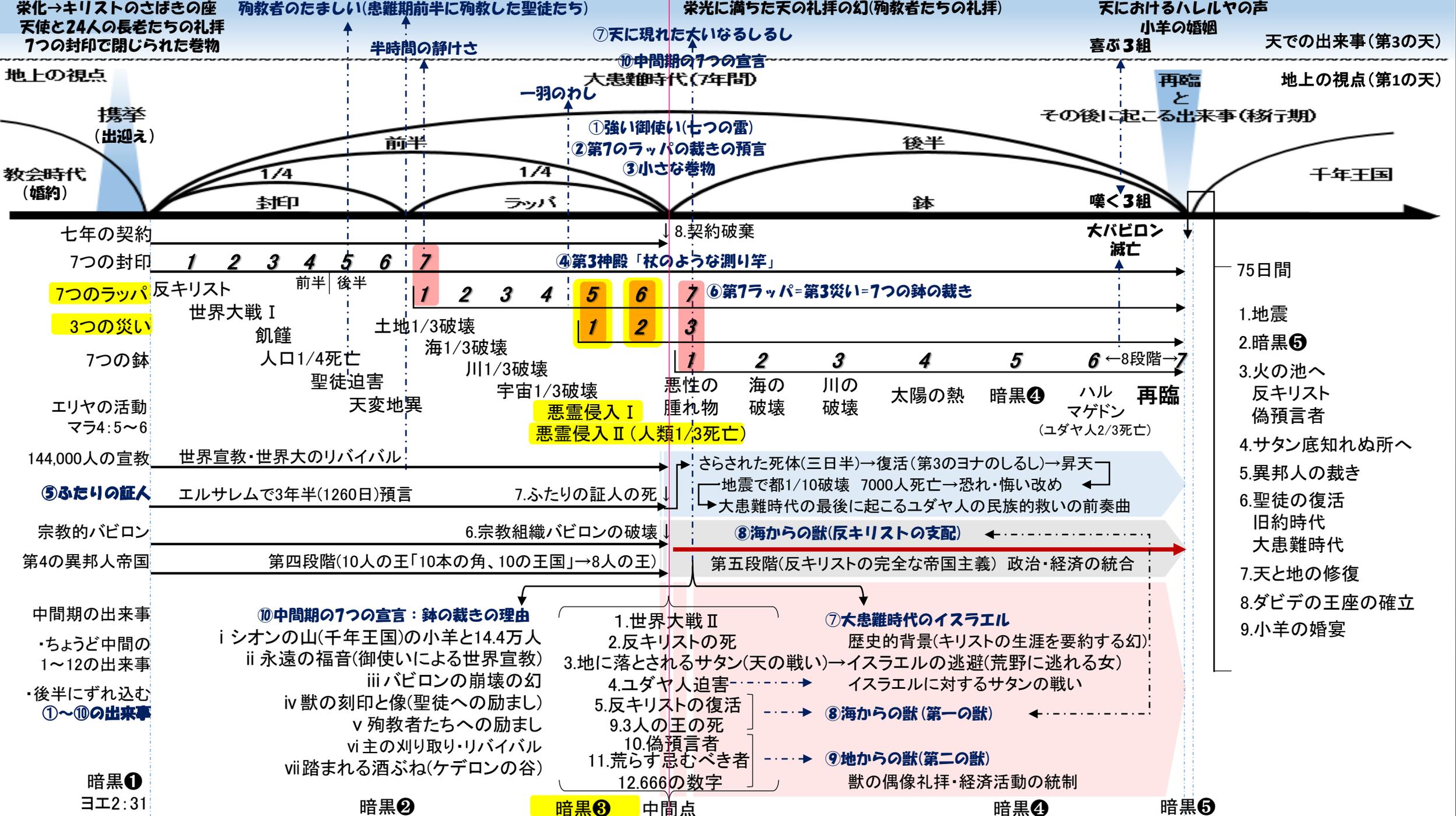
**8章は、前半の4つの裁き
人類を取り巻く自然界への裁き**



9章 ラッパの裁き

～大患難時代前半の「後1/4」の出来事～

**9章は、第5・第6のラッパの裁き
人類そのものに対する裁き**



死者の場所 (13 の用語)

by K. Nakagawa

新天新地

⑪パラダイス ←

⑬新しいエルサレム ←

⑫天 (第三の天)

⑪パラダイス

⑬新しいエルサレム

キリストの昇天

(第二の天)

(第一の天)

(地球)

①シオール (死者が行く場所) = ②ハデス(広義)

②ハデス (狭義)

③アバドン (固有名詞)

④よみの穴 (描写的言葉)

⑦地獄 (ヘブル語、ギリシア語にない)

⑤アビス
(墮天使を一時的に閉じ込める場所)

⑥タータラス
(創 6 章の墮天使)

⑩アブラハムのふところ
(比喩的言葉)

⑪パラダイス

- ①シオール よみ (改)、陰府 (共)、陰府 (口)
- ②ハデス ハデス、陰府、黄泉
- ③アバドン 滅びの淵、滅びの国、滅びの穴
- ④よみの穴 よみの穴、滅亡、墓 (ヨブ 33:18)
- ⑤アビス 底知れぬ所、底なしの淵、底知れぬ所
- ⑥タータラス 地獄、地獄、下界
- ⑦地獄
- ⑧ゲヘナ ゲヘナ、地獄、地獄
- ⑨火の池 火の池、火の池、火の池
- ⑩アブラハムのふところ アブラハムのふところ、アブラハムのすぐそば、アブラハムのふところ
- ⑪パラダイス パラダイス、楽園、パラダイス
- ⑫天 第三の天、第三の天、第三の天
- ⑬新しいエルサレム 上にあるエルサレム、天のエルサレム、上なるエルサレム (ガラ 4:26)

⑧ゲヘナ (Gei Hinnom が語源)

⑨火の池

(すべての失われた者の永遠の住み家)

	現在・大患難時代前半	大患難時代中間	大患難時代後半	千年王国	永遠の裁き
サタン	第1の天	地上に落とされる	地上でイスラエルを抹殺しようと攻撃する 人類を苦しめる	アビス(底知れぬ穴・所) (ルカ8:31) ※一般の天使によって得られ幽閉	ゲヘナ (火の池)
悪霊				エドム or バビロン	
悪霊	アビス (底知れぬ穴・所) (ルカ8:31)	地上に解き放たれる (墮天使が開く)			
悪霊 (創6章の墮天使)	タータラス(暗闇の穴)				
獣(反キリスト)	患難期に頭角を現す	死んで復活し 世界を支配	政治・宗教を支配	獣はキリストに殺され(Ⅱテサ2:8) 復活(第2の復活)させられ(イザ14:9-11) ゲヘナ(黙19:20)へ	
偽預言者	-		反キリスト礼拝の 強要・迫害・666の刻印	偽預言者はゲヘナ(火の池)へ	

10章 小さな巻物

～大患難時代の『ちょうど中間』の出来事～

苦難を通過する信者への励まし

「もうひとりの強い御使い」

「開かれた巻物」

今後の展望

～10章～14章は、挿入箇所(7章と同じ)～

物語の進展はなく、状況の説明が入る

例外は11：15～19（第7のラッパが吹かれる）

※この5節のみが本文

序言「まえがき」(1:1~3) -----> 1:1「イエスキリストの黙示」

あいさつ(1:4~8) -----> 1:7「黙示録のテーマ」

★Ⅰ. ヨハネが見た事: 栄光に輝く人の子(1:9~20) -----> 1:19「黙示録のアウトライン」

★Ⅱ. 今ある事: 教会時代(2:1~3:22)

★Ⅲ. この後に起こる事(4:1~22:5)

1. 大患難時代の前に起こる出来事(4:1~5:14)

2. 大患難時代(6:1~18:24)

7章は挿入句 -----> (1)大患難時代の前半に起こる出来事(6:1~9:21)

-----> 再臨までのプロセス

11:15~19のみ本文 -----> (2)大患難時代の中間に起こる出来事(10:1~14:20)
他は巨大な挿入句

(3)大患難時代の後半に起こる出来事(15:1~16:21)

巨大な挿入句 -----> (4)反復:2つの大バビロン(17:1~18:24)

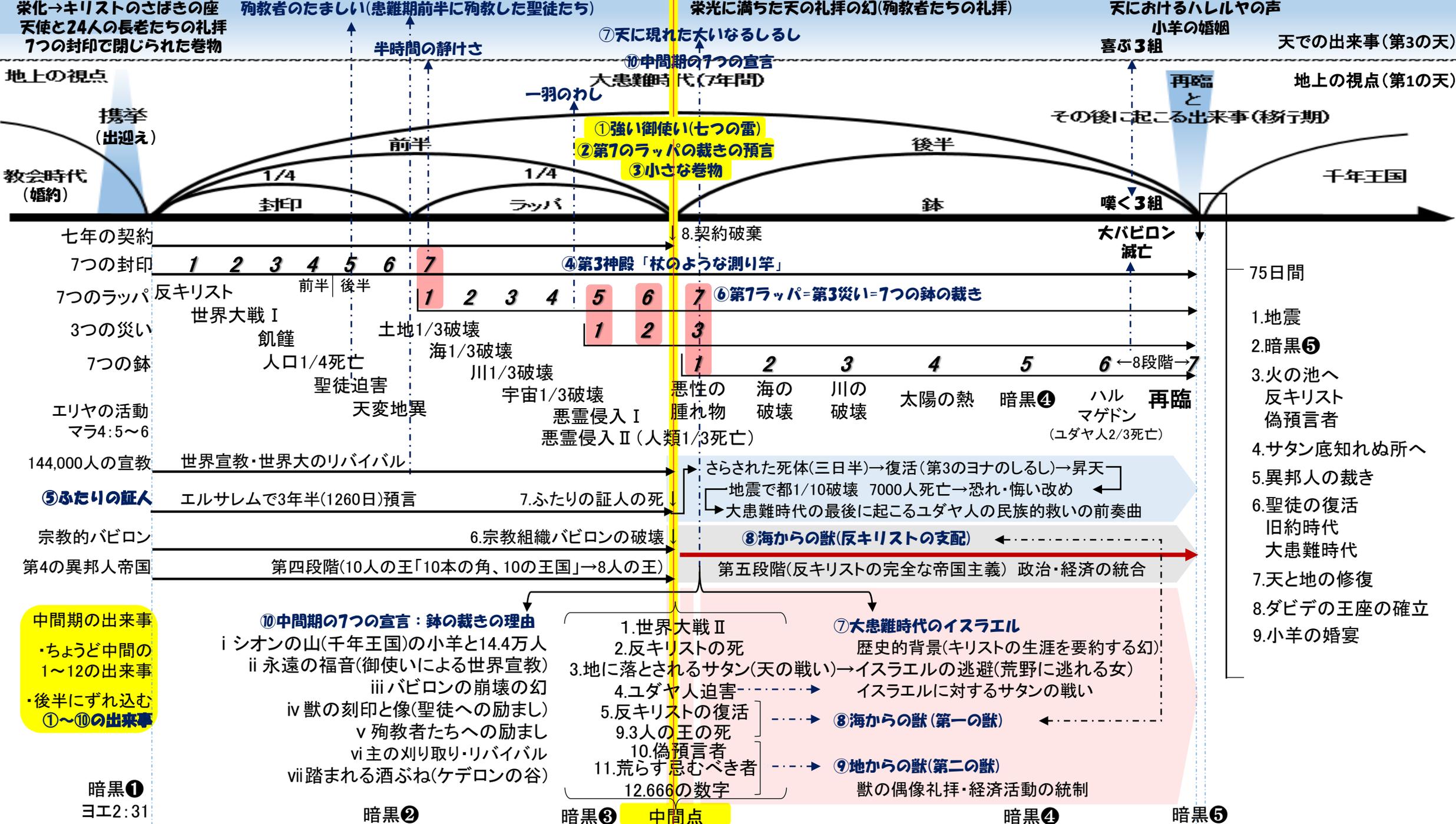
3. 再臨とその後が起こる出来事(19:1~20:3) -----> クライマックスは再臨

4. メシア的王国(20:4~6)

5. その後の出来事(20:7~15)

6. 永遠の御国(21:1~22:5) -----> ゴール(神の栄光)

結論(22:6~21)



中間期の出来事
 ・ちょうど中間の1~12の出来事
 ・後半にずれ込む①~⑩の出来事

- ⑩中間期の7つの宣言：鉢の裁きの理由**
- i シオンの山(千年王国)の小羊と14.4万人
 - ii 永遠の福音(御使いによる世界宣教)
 - iii バビロンの崩壊の幻
 - iv 獣の刻印と像(聖徒への励まし)
 - v 殉教者たちへの励まし
 - vi 主の刈り取り・リバイバル
 - vii 踏まれる酒ぶね(ケデロン谷)

- ⑦大患難時代のイスラエル**
 歴史的背景(キリストの生涯を要約する幻)!
- 1. 世界大戦Ⅱ
 - 2. 反キリストの死
 - 3. 地に落とされるサタン(天の戦い)→イスラエルの逃避(荒野に逃れる女)
 - 4. ユダヤ人迫害
 - 5. 反キリストの復活
 - 9. 3人の王の死
 - 10. 偽預言者
 - 11. 荒らす忌むべき者
 - 12. 666の数字

- ⑧海からの獣(反キリストの支配)**
- ⑨地からの獣(第二の獣)**
 獣の偶像礼拝・経済活動の統制

- 75日間
- 1. 地震
 - 2. 暗黒⑤
 - 3. 火の池へ反キリスト偽預言者
 - 4. サタン底知れぬ所へ
 - 5. 異邦人の裁き
 - 6. 聖徒の復活
旧約時代
大患難時代
 - 7. 天と地の修復
 - 8. ダビデの王座の確立
 - 9. 小羊の婚宴

11章 二人の証人の活動

～大患難時代の『ちょうど中間』の出来事～

～10章～14章は、挿入箇所(7章と同じ)～

神の測り竿と第3神殿

ふたりの証人の活動期間と「死・復活・昇天」

第7のラッパ(11：15～19) ※この5節のみが本文

死者の場所 (13 の用語)

by K. Nakagawa

新天新地

⑪パラダイス ←

⑬新しいエルサレム ←

⑫天 (第三の天)

⑪パラダイス

⑬新しいエルサレム

キリストの昇天

(第二の天)

(第一の天)

(地球)

①シオール (死者が行く場所) = ②ハデス(広義)

②ハデス (狭義)

③アバドン (固有名詞)

④よみの穴 (描写的言葉)

⑦地獄 (ヘブル語、ギリシア語にない)

⑤アビス
(墮天使を一時的に閉じ込める場所)

⑥タータラス
(創 6 章の墮天使)

⑩アブラハムのふところ
(比喩的言葉)

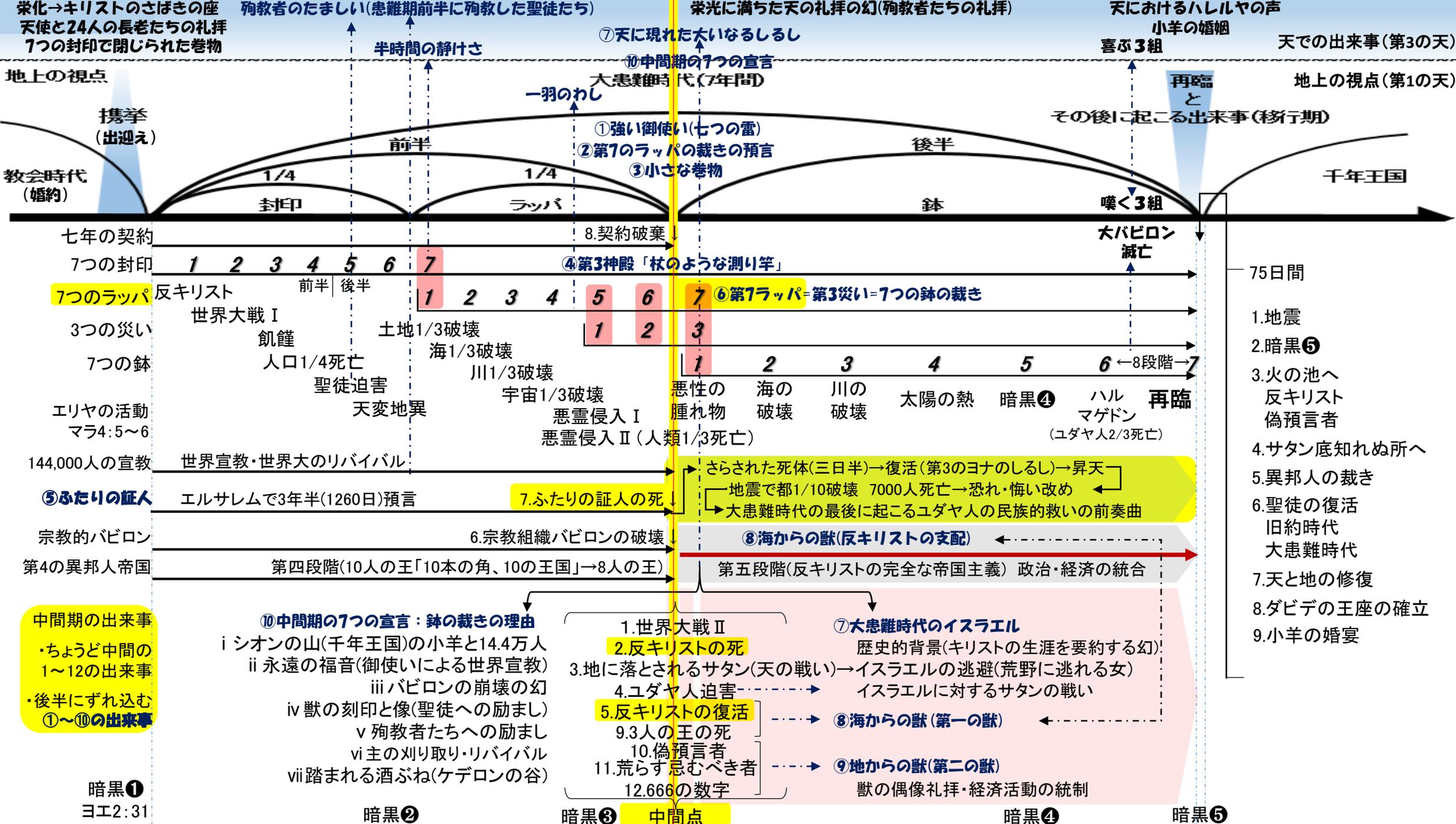
⑪パラダイス

- ①シオール よみ (改)、陰府 (共)、陰府 (口)
- ②ハデス ハデス、陰府、黄泉
- ③アバドン 滅びの淵、滅びの国、滅びの穴
- ④よみの穴 よみの穴、滅亡、墓 (ヨブ 33:18)
- ⑤アビス 底知れぬ所、底なしの淵、底知れぬ所
- ⑥タータラス 地獄、地獄、下界
- ⑦地獄
- ⑧ゲヘナ ゲヘナ、地獄、地獄
- ⑨火の池 火の池、火の池、火の池
- ⑩アブラハムのふところ アブラハムのふところ、アブラハムのすぐそば、アブラハムのふところ
- ⑪パラダイス パラダイス、楽園、パラダイス
- ⑫天 第三の天、第三の天、第三の天
- ⑬新しいエルサレム 上にあるエルサレム、天のエルサレム、上なるエルサレム (ガラ 4:26)

⑧ゲヘナ (Gei Hinnom が語源)

⑨火の池

(すべての失われた者の永遠の住み家)

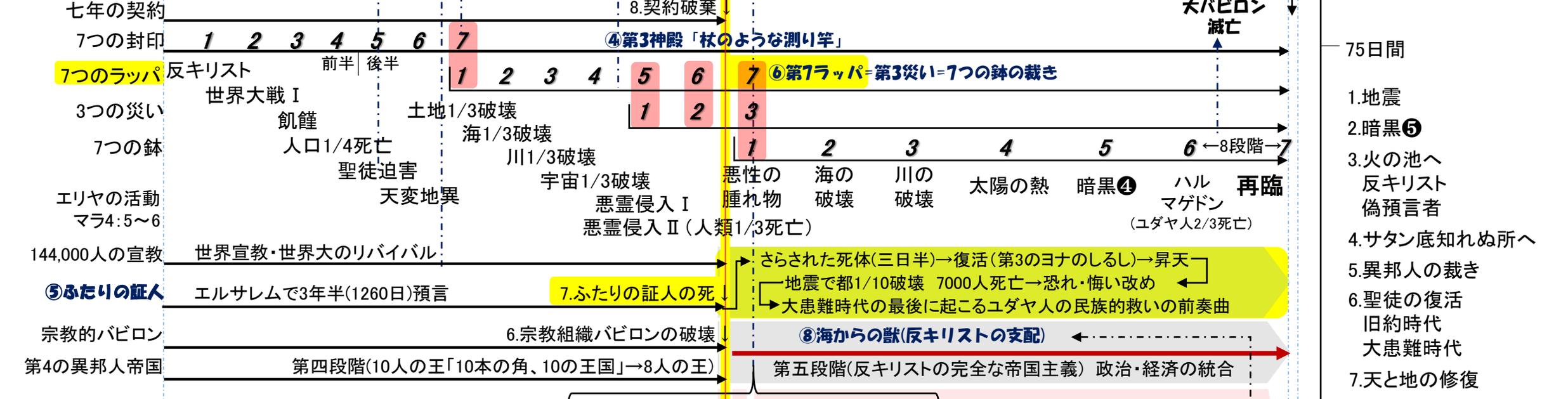
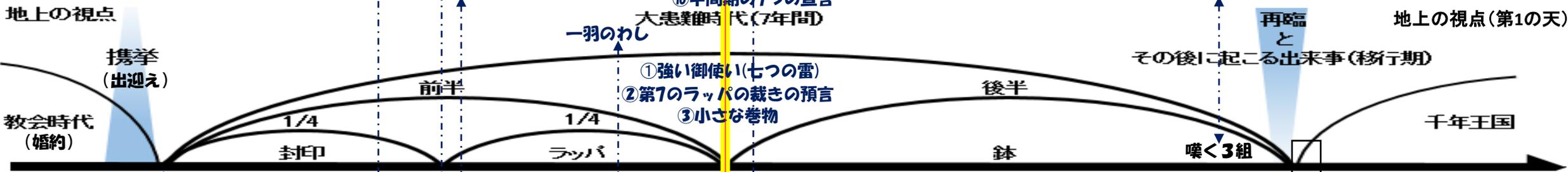


栄化→キリストのさばきの座
天使と24人の長老たちの礼拝
7つの封印で閉じられた巻物

殉教者のたましい(患難期前半に殉教した聖徒たち)
半時間の静けさ

栄光に満ちた天の礼拝の幻(殉教者たちの礼拝)
⑦天に現れた大いなるしるし
⑩中間期の7つの宣言
大患難時代(7年間)

天におけるハレルヤの声
小羊の婚約
喜ぶ3組
天での出来事(第3の天)



中間期の出来事
・ちょうど中間の1~12の出来事
・後半にずれ込む①~⑩の出来事

⑩中間期の7つの宣言: 鉢の裁きの理由

- i シオンの山(千年王国)の小羊と14.4万人
- ii 永遠の福音(御使いによる世界宣教)
- iii バビロンの崩壊の幻
- iv 獣の刻印と像(聖徒への励まし)
- v 殉教者たちへの励まし
- vi 主の刈り取り・リバイバル
- vii 踏まれる酒ぶね(ケデロン谷)

1. 世界大戦 II
2. 反キリストの死
3. 地に落とされるサタン(天の戦い)→イスラエルの逃避(荒野に逃れる女)
4. ユダヤ人迫害
5. 反キリストの復活
9.3人の王の死
10. 偽預言者
11. 荒らす忌むべき者
12. 666の数字

⑦大患難時代のイスラエル
歴史的背景(キリストの生涯を要約する幻)!
イスラエルに対するサタンの戦い

⑧海からの獣(第一の獣)

⑨地からの獣(第二の獣)
獣の偶像礼拝・経済活動の統制

- 75日間
- 地震
 - 暗黒⑤
 - 火の池へ反キリスト偽預言者
 - サタン底知れぬ所へ
 - 異邦人の裁き
 - 聖徒の復活
旧約時代
大患難時代
 - 天と地の修復
 - ダビデの王座の確立
 - 小羊の婚宴

暗黒①
ヨエ2:31

暗黒②

暗黒③ 中間点

暗黒④

暗黒⑤

12章

イスラエルに対する戦い(2)

～サタンとイスラエルの戦いの歴史の振り返り～

～大患難時代に起こることの預言～

キリストの生涯を要約する幻

天における戦い

サタンによるユダヤ人迫害

7人の主役たち

～12～13章が最も多く象徴(シンボル)が登場する～

12章：前半

①ひとりの女：イスラエルの象徴

②赤い竜：サタンの象徴

③男の子：キリストの象徴

12章：後半

④ミカエル：天使長

⑤女の子孫の残りの者：レムナント、真の信仰者たち

13章：次回

⑥海から上って来た獣：反キリスト

⑦地から上って来た獣：偽預言者

	現在・大患難時代前半	大患難時代中間	大患難時代後半	千年王国	永遠の裁き
サタン	第1の天 第2、第3の天や 地上に移動可能	地上に落とされる	地上でイスラエルを 抹殺しようと攻撃する 人類を苦しめる	アビス(底知れぬ穴・所) (ルカ8:31) ※一般の天使によって得られ幽閉	ゲヘナ (火の池)
悪霊				エドム or バビロン	
悪霊	アビス (底知れぬ穴・所) (ルカ8:31)	地上に解き放たれる (墮天使が開く)			
悪霊 (創6章の墮天使)	タータラス(暗闇の穴)				
獣(反キリスト)	患難期に頭角を現す	死んで復活し 世界を支配	政治・宗教を支配	獣はキリストに殺され(Ⅱテサ2:8) 復活(第2の復活)させられ(イザ14:9-11) ゲヘナ(黙19:20)へ	
偽預言者	-		反キリスト礼拝の 強要・迫害・666の刻印	偽預言者はゲヘナ(火の池)へ	